

## 令和4年度経営目標達成状況 大牟田市公共下水道事業経営戦略

計画初年度となる令和4年度決算に基づき、経営戦略で進捗状況を検証するとともに、経営状況の評価を行いました。

### 基本理念

環境にやさしい快適なくらしと災害に備えるまちづくりを支える下水道

### 基本指針

#### 生活排水対策の推進

下水道及び浄化槽による適切な役割分担のもと、効率的な污水处理施設の普及促進に取り組みます。水洗化を促進するための支援制度の充実を図るとともに、生活環境に対する市民理解を深めるための広報啓発に取り組みます。

#### 防災基盤の強化

雨水を排除するポンプ場等の下水道施設の整備を進めるとともに、老朽化した施設の計画的な改築更新と適切な維持管理により、浸水被害の未然防止と浸水緩和に取り組み

#### 安定した下水道サービスの持続

流入水から処理水まで、処理工程の水質管理を徹底し、公共用水域の水質保全を図ります。施設の適切な維持管理のため、その状況を把握、評価し、長期的な視点による下水道施設の効率的な改築更新を行います。さらに、将来にわたり持続する事業運営を可能とするため、経営基盤の強化に取り組み、下水道事業への市民理解を深めるため、情

### 経営目標

#### ①下水道処理人口普及率の向上 ～年間2ポイント以上～

経営目標として掲げた指標に対応する重点的に取り組む施策  
①未普及地域の整備促進

#### ②雨水排除機能の向上 ～下水道施設の耐水化及び雨水ポンプ場の機能強化

経営目標として掲げた指標に対応する重点的に取り組む施策  
③施設の改築更新と長寿命化対策 ④雨水対策

#### ③経常収支比率の向上 ～年間1ポイント以上～

経営目標として掲げた指標に対応する重点的に取り組む施策  
②水洗化の普及促進

達成  
状況

経営目標①	下水道処理人口普及率の向上							
目標値	年間2ポイント以上							
重点的に取り組む施策	①未普及地域の整備促進							
事業名	公共下水道汚水管渠整備事業	決算額	1,459,825	千円				
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉野、勝立、藤田処理系統などにおいて、下水道管の幹線及び枝線の埋設工事を実施し、面整備を行いました。</li> <li>・整備面積53.51ha（累計1,962.17ha）</li> </ul>							
達成状況	未達	1.3ポイント上昇	R3	R4	R5	R6	R7	R8
			71.0%	72.3%				
硬質岩盤の出現や資材調達に時間を要したことから一部の工事が繰越工事となり、下水道人口普及率は1.3ポイントの上昇となりました。引き続き、未整備地区の整備を進め、下水道処理人口普及率の向上に努めます。								

経営目標②	雨水排除機能の向上							
目標値	下水道施設の耐水化及び雨水ポンプ場の機能強化							
重点的に取り組む施策	③施設の改築更新と長寿命化対策							
事業名	下水道施設(処理場、ポンプ場)改築更新事業(雨水)	決算額	128,478	千円				
事業の実施状況	・浜田町ポンプ場雨水設備更新を実施しました。（計3設備）							
重点的に取り組む施策	④雨水対策							
事業名	公共下水道雨水対策事業	決算額	113,796	千円				
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三川ポンプ場整備のため、土木工事に着手しました。</li> <li>・下水道施設を対象とした耐水化工事を実施しました。（5施設；北部浄化センター、浜田町ポンプ場、明治ポンプ場、諏訪ポンプ場、駿馬調整池）</li> </ul>							
事業名	公共下水道白川排水区整備事業(第2期)	決算額	5,775	千円				
事業の実施状況	・公共下水道事業計画に基づき、白川排水区の雨水整備を図るため、関係機関と協議しながら進めていますが、協議に不測の時間を要したことから、繰越事業として白川排水区実施設計業務委託を発注しました。							
達成状況	達成	下水道施設の耐水化及び雨水ポンプ場設備更新・整備工事実施						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道ストックマネジメント計画に基づき、施設の延命化を図り、効率的な下水道施設の改築更新に取り組みます。</li> <li>・三川ポンプ場の整備については、着実に工事を進めるために、地域住民や関係機関と協議を行いながら、引き続き土木工事を進めるとともに、R5年度からは新たに機械・電気工事に着手し、計画的な工事進捗に取り組みます。</li> <li>・白川排水区整備事業(第2期)については、引き続き、雨水管の実施設計業務委託を実施します。</li> </ul>							

経営目標③	経常収支比率の向上							
目標値	年間1ポイント以上							
重点的に取り組む施策	②水洗化の普及促進							
事業名	水洗化普及促進事業	決算額	76,009	千円				
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水洗化戸数995戸（目標値；毎年度1,200戸）</li> <li>・環境部と連携を図り、未水洗化家屋（特に義務期間経過家屋）の戸別訪問を延べ3,128戸実施し、水洗化を検討されている方に対して、し尿手数料と下水道使用料等を比較した水洗化の診断書を用いて、アドバイスをを行いました。また、広報等を通じ、「水洗化促進キャンペーン」により新たに創設した経済的な支援制度等の周知を行いました。</li> </ul>							
達成状況	達成	1.1ポイント上昇	R3	R4	R5	R6	R7	R8
			118.2%	119.3%				
水洗化の普及促進に取り組んでいることから水洗化率が向上し、下水道使用料等が増収となり、経常収支比率が1.1ポイント上昇しました。								